

スポーツ理学療法技能検定の概要

～ 技能検定を受講される方へ ～

技能検定の項目としては、以下の内容となります。

- 1) スポーツ現場における移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾の2種類）
- 2) テーピング技術（足関節：基本のテーピング）
- 3) スポーツ現場でのシナリオテスト（整形外科的徒手検査の確認を含む）

1) スポーツ現場における移送・搬送法・固定法

スポーツ現場において傷病者への一次処置として、受傷者が安全に、且つ、速やかに医療機関に受診できるよう移送・搬送法・固定法（包帯・三角巾）の検定を行います。

【内容】:

- ①止血・固定法：傷をガーゼで覆い、包帯と必要に応じて副木固定を行う。
例）転倒して手をつき、傷と骨折が疑われる場合に、止血や固定を行う。
- ②移送・搬送法：傷病者1名を2人一組で搬送を行う。
例）下肢の怪我により一人で動けない選手の搬送を行う。

2) テーピング技術検定

【内容】: 足関節内反捻挫に対する再発予防の固定テーピング

【実施時間】: 3分間

【使用テーピング】: アンダーラップ・非伸縮テープ（ホワイトテープ 38mm）

【テーピング手順】:

- ① アンカー
- ② スターアップ（平行スターアップ）
- ③ ホースシュー
- ④ サーキュラー
- ⑤ 外側ヒールロック（ハーフ）
- ⑥ 内側ヒールロック（ハーフ）
- ⑦ フィギアエイト
- ⑧ アンカー

【検定のポイント】:

- ・制限時間内に巻けるかどうか
- ・規定通り行えている
- ・固定力があるかどうか
- ・仕上がりの良さ

※当日、練習として使用される場合は、ご自身でアンダーラップ及び非伸縮テープ(ホワイト38mm)をご用意して下さい。(但し、検定時の使用テープは、こちらで準備致します。)

3) スポーツ現場でのシナリオテスト(整形外科的徒手検査を含む)

【実施時間】: 7分間

【内容】: 試合中に選手が怪我をして倒れたところからの想定。

選手の安全な移動方法・怪我の評価・試合に出場可能か否かの確認と説明・医療機関の受診の促しなど一連の流れで実施する。

例) 18歳女性

- ・競技種目(バスケットボール)
- ・膝前十字靭帯損傷

「カットインしようとした時、踏み込んだ際にプチッと音がし、倒れた。」

【検定の手順・ポイント】:

- ① 声掛けをし、意識確認・近づきながら、出血・変形等を確認
- ② 骨折の有無を確認: 叩打痛・振動痛の確認
- ③ 患部の変形・熱感・腫れを確認
- ④ 可動域と痛みの確認 (自動運動・他動運動)
- ⑤ 整形外科的検査(スペシャルテスト)の実施と評価の確認
- ⑥ 評価を選手に伝え、医療機関受診の促し、今後の競技復帰への適切なアドバイスの実施
 - ※ 応急処置の必要性の確認と説明
 - ※ 選手へのリスク管理の説明